

さいきょう くんよ もっと つよ ごおうさいきょう ちゅうこうはつ そごうきんかしょう
最強を訓読みすれば、最も強しとなる。牛玉最強は中興八祖豪欣和上の言葉と伝え

るが、何を以っての故に斯くいえるのかと、問われること多々あるので、少しく陳べたい。

たっこくのいわや ごおうほういん ほんぼうさいきょう ぶじん せいいだいしょうぐんさかのうえの
達谷窟の牛玉寶印が最強である第一の理由は、本邦最強の武人、征夷大將軍坂上

たむらまろう ごほんじ びしゃもんさま しゅぎょう つ ごおうほういん かじ
田村磨公の御本地の毘沙門様を本尊に、執行されることに尽きる。そして、牛玉寶印を加持

する修正會は、慈覺大師の弟子の慧海和尚から、一千二百年続く神事なのである。

次に、修正會の期間が長いこと。じつは、平成の御代に、正月元日から八日まで、修正會

を勤めている社寺は、岩手県では達谷西光寺の他、中尊寺、毛越寺だけであろう。全国で

も、稀なのである。

さらに、修正會に係わる神事が多岐に亘ること。11月23日の新嘗祭の結界行事に始

まり、師走には二日の御年越と、沢山の神事と仕度。大晦日の滅罪護摩供、そして正月の

八日迄、一日三座毘沙門天王秘密供を修したほか、元日の仁王會、礼拝講、二日の鬼儼會、

三日の初夜座、後夜座、八日の牛玉法で結願を迎えたのち、14日の忝焚祭、即ちどんと

祭で、正月行事が漸く了るのである。

最後は、神仏習合の神事であること。達谷西光寺の修正會では、結界行事や礼拝講、

鬼儼會、さらに神樂といった修験の行事が、今なお執行されているのである。明治維新で

修験が廃止され、牛玉寶印の本場である熊野も、神社になってしまった。したがって、修正會

は行われていない。

嘗ては、葬式を生業とする滅罪寺に対して、檀家を持たない祈願寺が行っていた、神も

佛も仲良く坐わした正月行事は、日本にはもうほとんど残ってないのである。斯く陳ぶれ

ば、江戸に生まれ、明治に活躍し、大正に遷化した豪欣和尚の、牛玉最強との思いを、理

解していただけたらと思う。最強の文言に恥じぬよう、心して勤めたいと思う。早いもので、

正月まで三月餘りである。